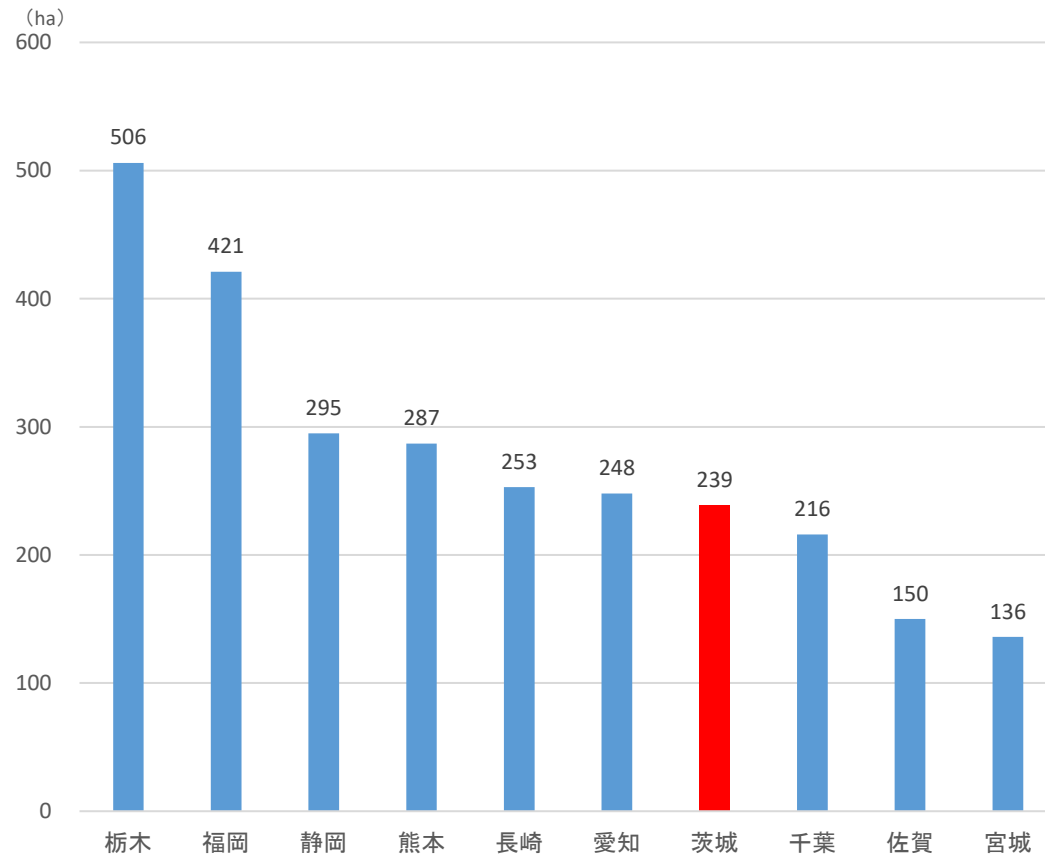


茨城県のいちご生産

令和7年10月

関東農政局 茨城県拠点

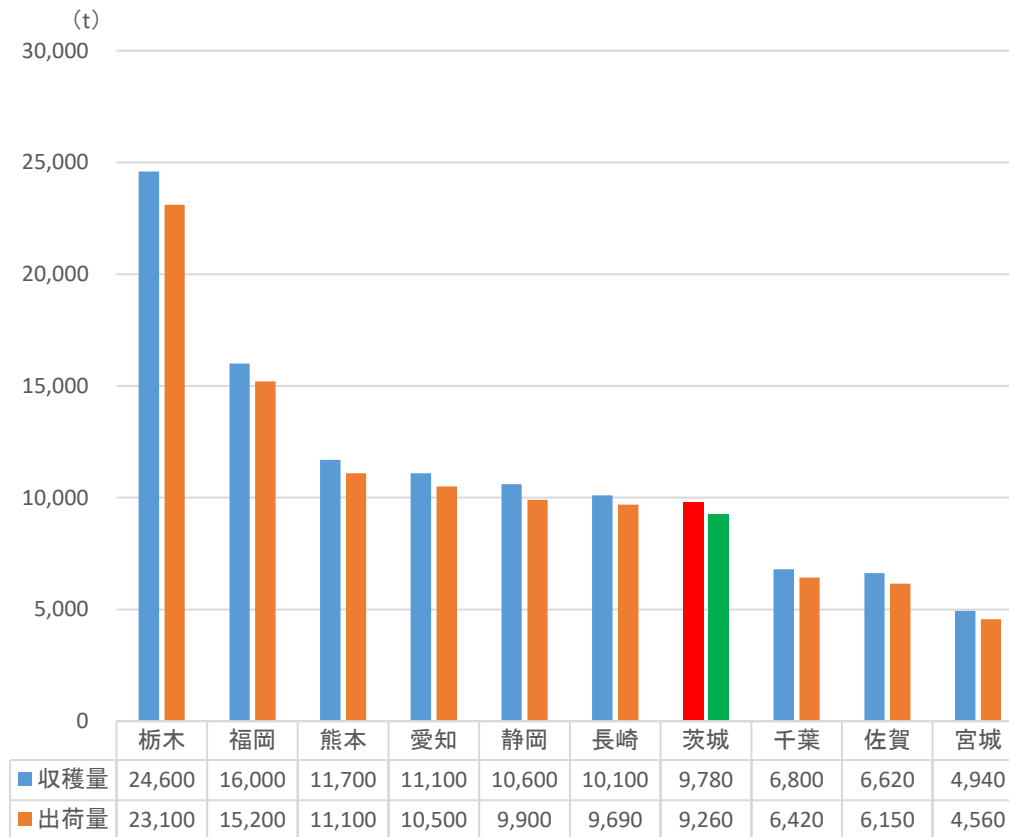
いちごの作付面積(令和5年)



作付面積 1 位は栃木県の506ha、2 位は福岡県の421ha、3 位は静岡県の287haとなっています。茨城県は 7 位で239haとなっています。

出典：農林水産省 作物統計調査

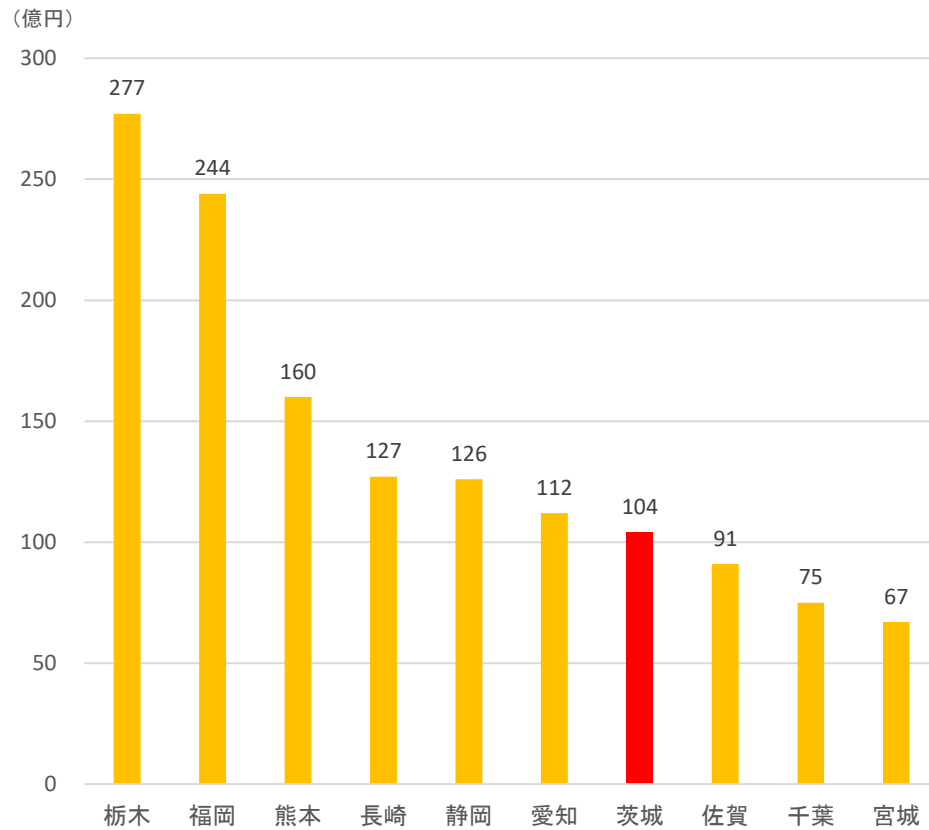
いちごの収穫量及び出荷量（令和5年）



収穫量、出荷量の1位は栃木県で、2位福岡県の約1.5倍と圧倒的に差をつけています。茨城県は7位となっています。

現在、栃木県は従来のとちおとめから収量の多いとちあいかへの品種の切替えが行われています。

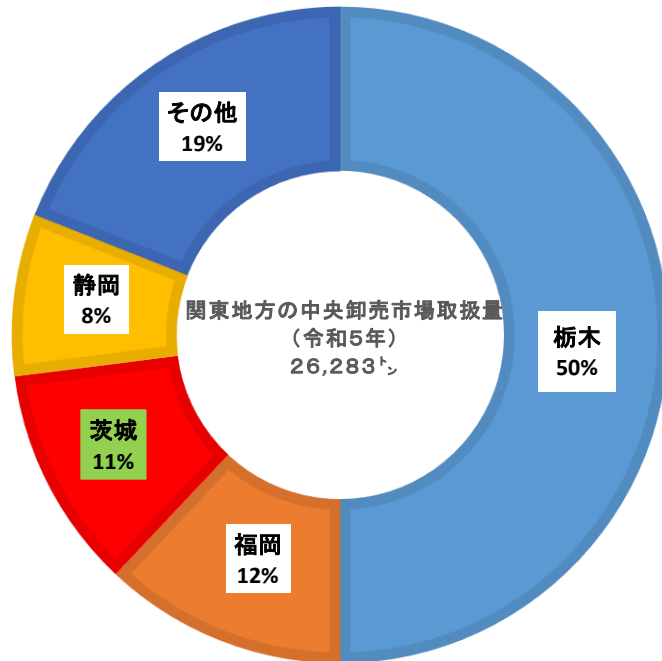
いちごの産出額(令和5年)



令和5年のいちごの産出額1位は栃木県、2位は福岡県で、3位の熊本県以下は大きく離されています。茨城県は7位となっています。

出典：農林水産省 生産農業所得統計

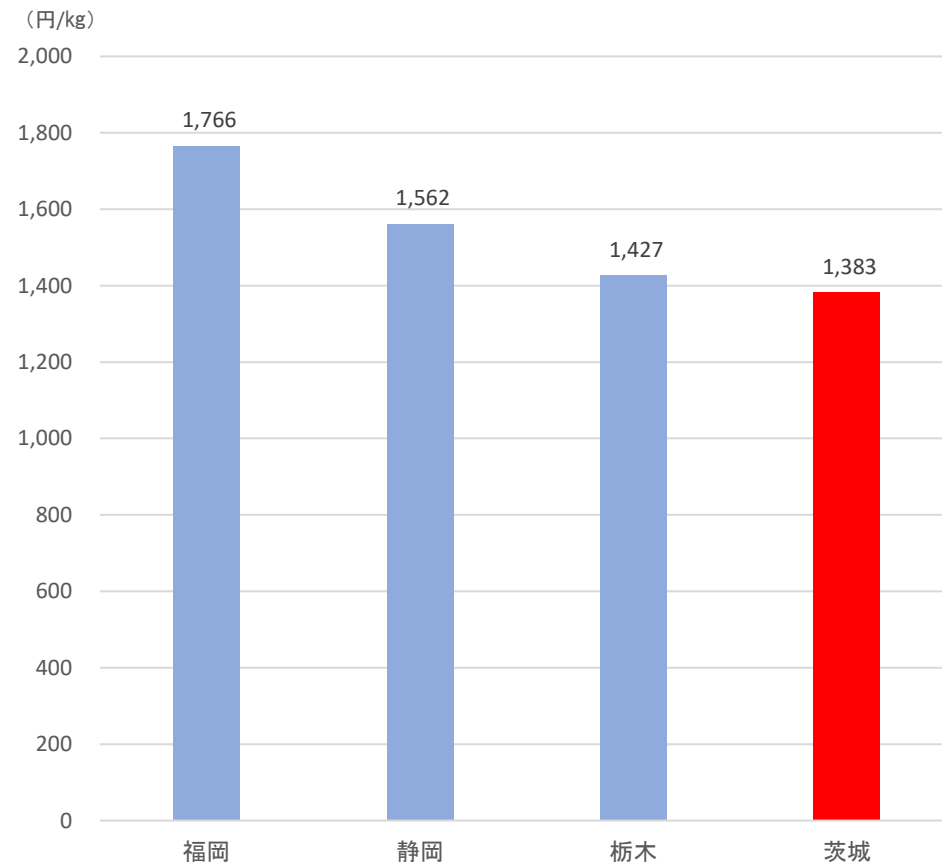
関東地方の中央卸売市場における産地別割合（令和5年）



関東地方の中央卸売市場における産地別割合は、栃木県が50%、福岡県が12%、茨城県が11%となり3県で全体の73%を占めています。

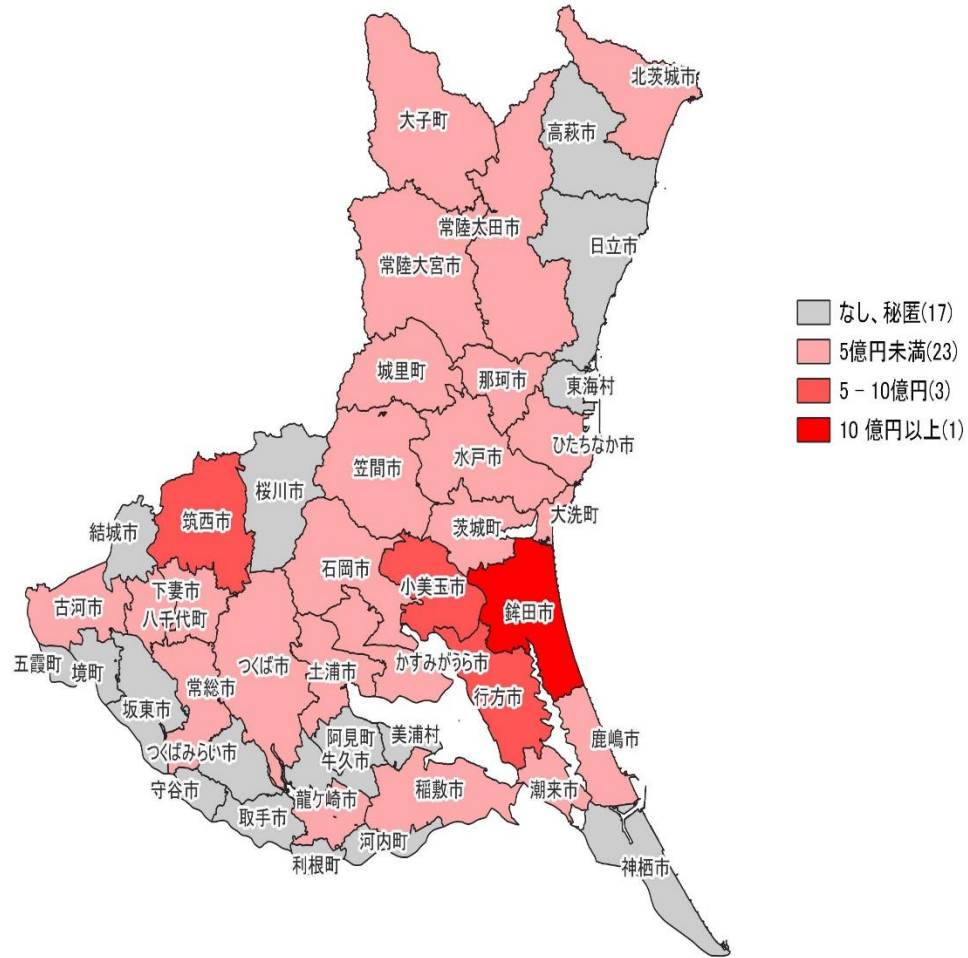
出典：農林水産省 令和5年青果物卸売市場調査

主要産地の平均卸売価格（令和5年）

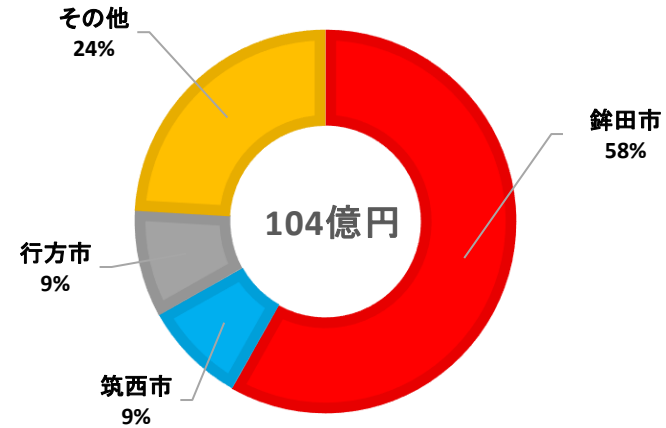


関東地方の中央卸売市場における主要産地の平均卸売価格は、栃木県で1,427円/kg、福岡県で1,766円/kg、茨城県で1,383円/kg、静岡県で1,562円/kgとなり、主要産地間に大きな差があります。

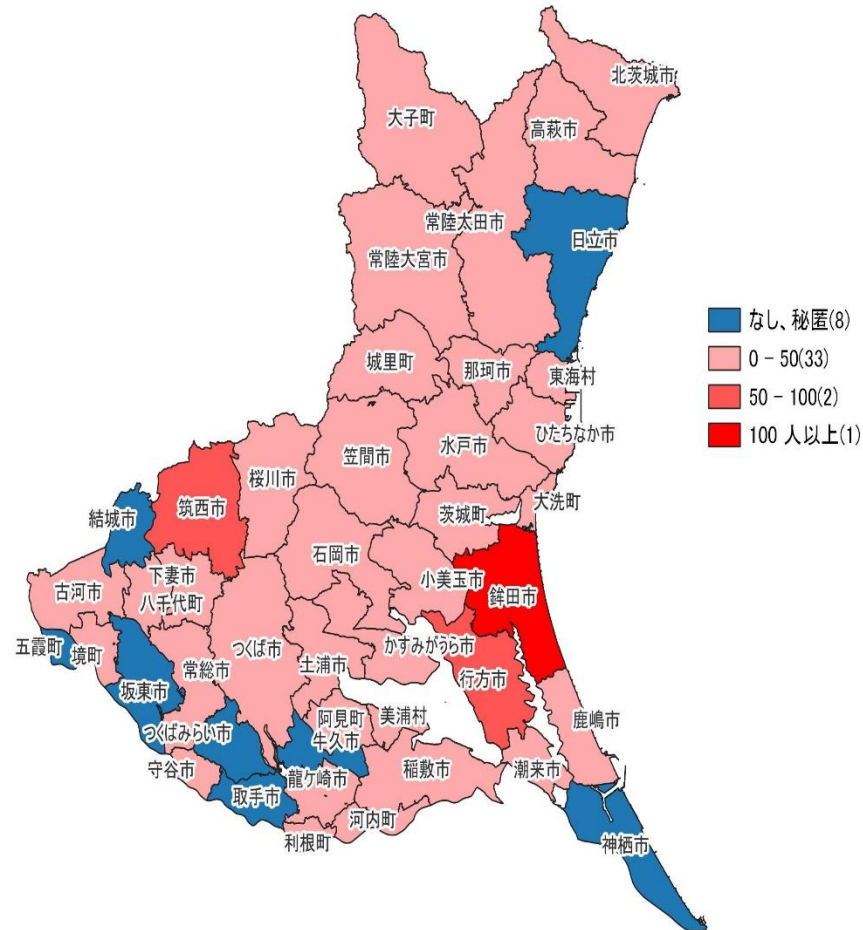
いちごの市町村別農業産出額(令和5年)



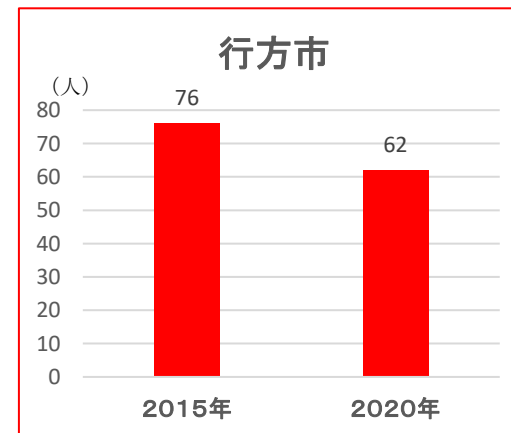
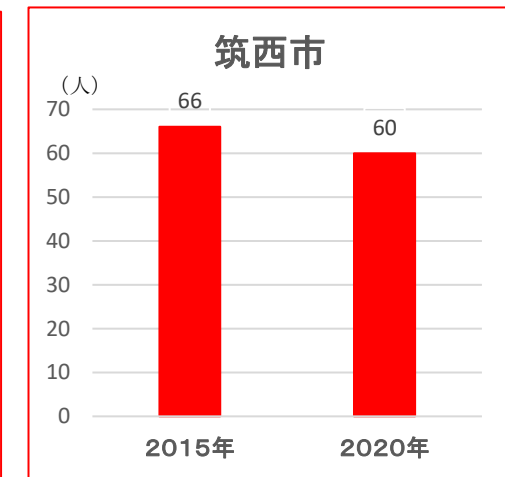
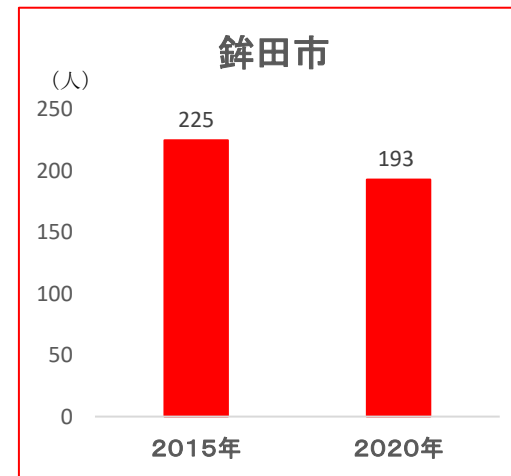
令和5年のいちごの農業産出額を市町村別にみると、1位は鉾田市の60.7億円で茨城県の約58%を占めており、2位が筑西市の9億円、3位が行方市の8.9億円となっています。



いちごの作付経営体数(令和5年)



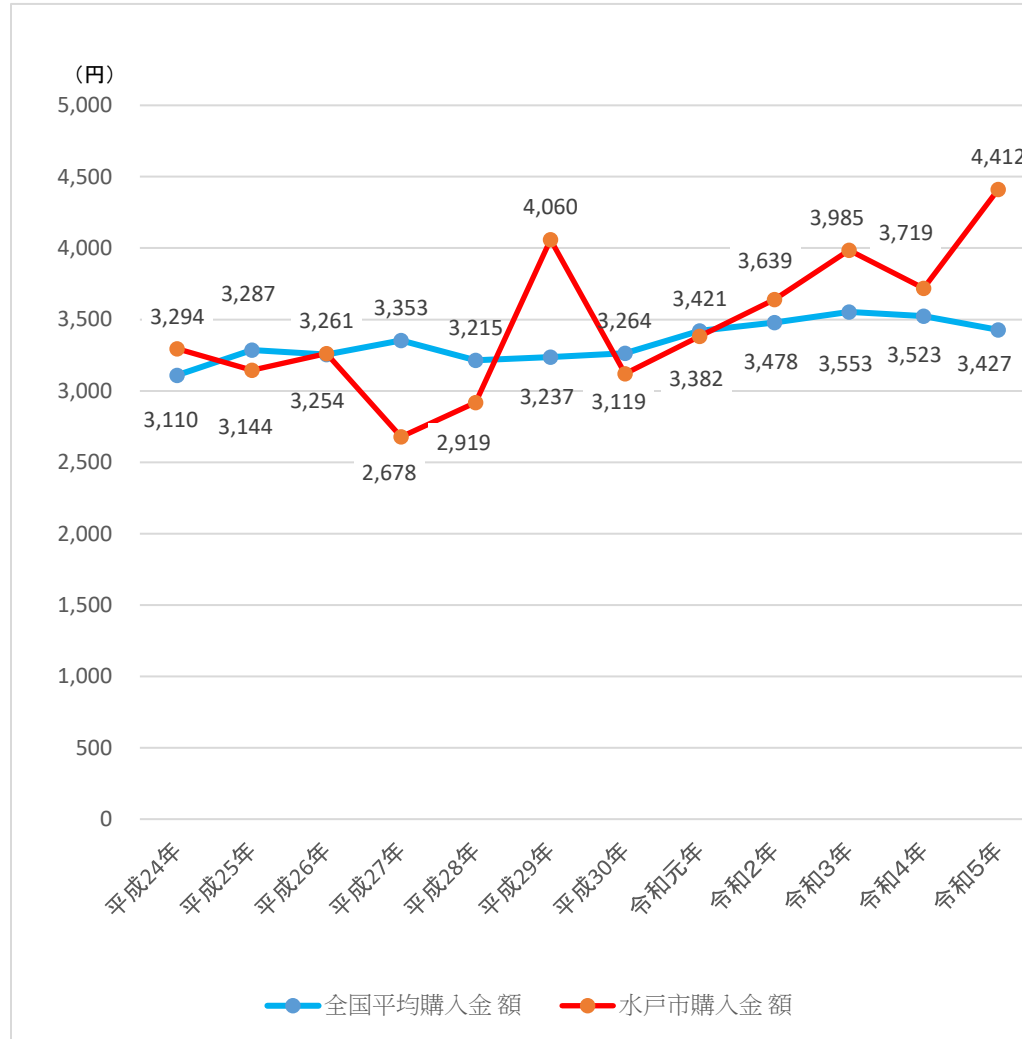
主要3市の作付経営体数の増減(いちご)



出典：農林水産省 農林業センサス

(参考)

いちごの1世帯当たり年間購入金額(二人以上の世帯)



全国の1世帯当たり年間購入金額は、3,100～3,500円で推移しており、令和5年は3,427円となっています。なお、水戸市の令和5年の購入金額は、4,412円で全国の約1.3倍となっています。

出典：総務省「家計調査」